

大船渡湾内観測結果(No.1)

“今月の話題”

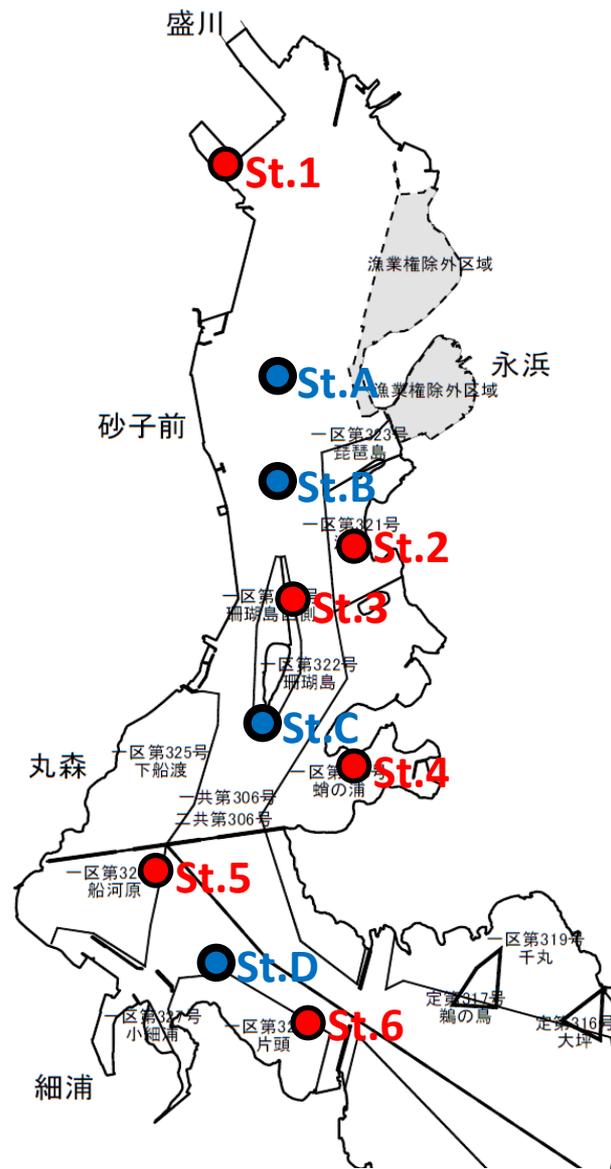
湾内の水温は7～10℃台であり例年よりも1.5～2.1℃程高めとなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは水深10m付近で高い状況でした。

4月20日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は5.0～8.0mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-3.1～+1.8mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが9.1～9.9℃、水深10mが8.0～8.4℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが+1.5～+2.1℃の範囲内、水深10mが+1.5～+1.9℃でした。

海域名:大船渡湾 調査担当:水産技術センター、大船渡市							
観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		2017年4月20日					
観測時刻		11:29	11:43	11:06	10:43	10:25	10:09
天候		晴					
気温(°C)		12.4					
風向		NW					
風力		3					
水深(m)		9.0	24.5	27.3	18.7	27.0	39.2
透明度(m)		6.0	6.0	7.0	8.0	5.0	5.0
水色		6	7	7	6	6	7
水温(°C)	表層0m	9.5	10.7	9.6	10.6	10.1	10.1
	水深2.5m	9.1	9.7	9.7	9.9	9.4	9.6
	水深10m	-	8.4	8.3	8.4	8.2	8.0
	海底上1m	8.7	7.9	7.9	8.0	7.9	7.7
塩分	表層0m	30.7	29.2	30.9	28.4	30.3	29.9
	水深2.5m	32.8	32.3	31.0	31.8	32.2	31.2
	水深10m	-	33.8	33.8	33.8	33.8	33.7
	海底上1m	33.8	33.9	33.8	33.8	33.8	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	105.2	110.1	109.3	103.6	109.6	106.4
	水深2.5m	107.3	113.1	110.3	110.1	112.2	109.3
	水深10m	-	112.9	110.2	115.8	108.6	104.4
	海底上1m	93.2	94.0	93.5	98.8	98.1	98.3
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.4	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
	水深2.5m	0.7	0.8	0.7	0.4	1.0	0.9
	水深10m	-	3.2	3.5	4.3	3.3	2.0
	海底上1m	1.2	3.5	3.8	5.3	6.0	0.7



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

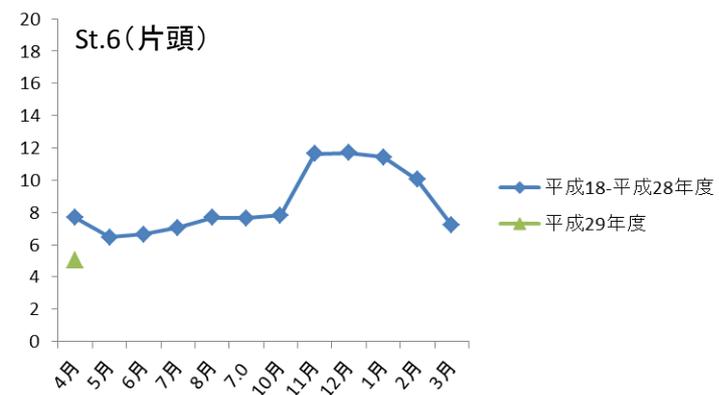
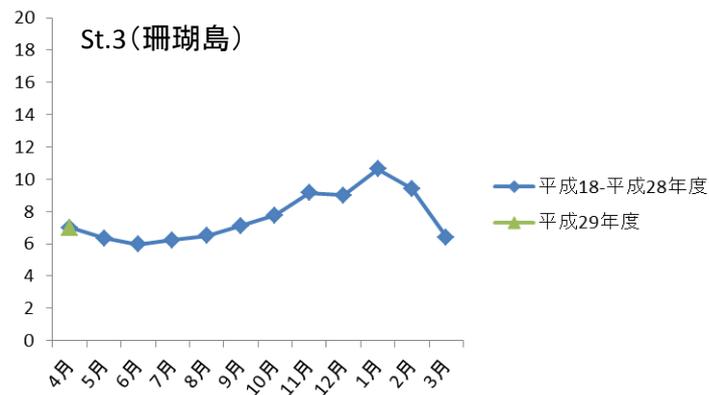
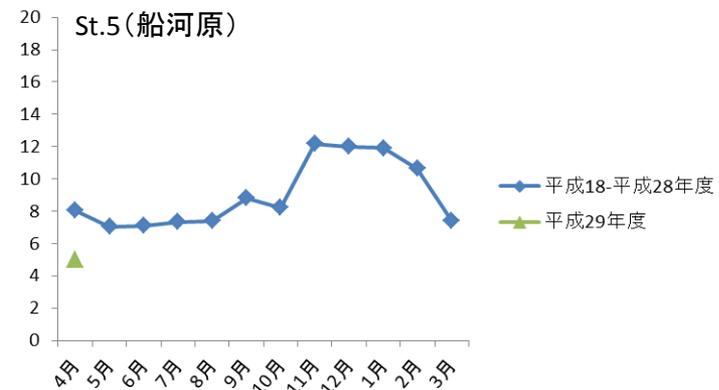
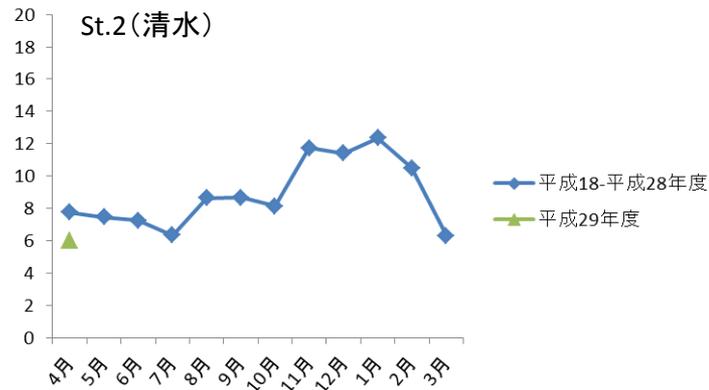
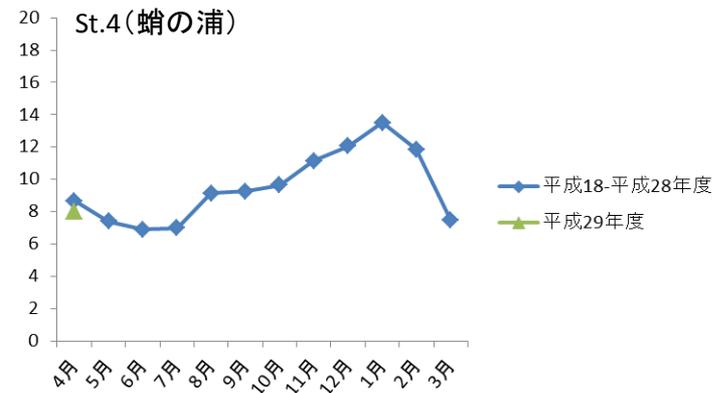
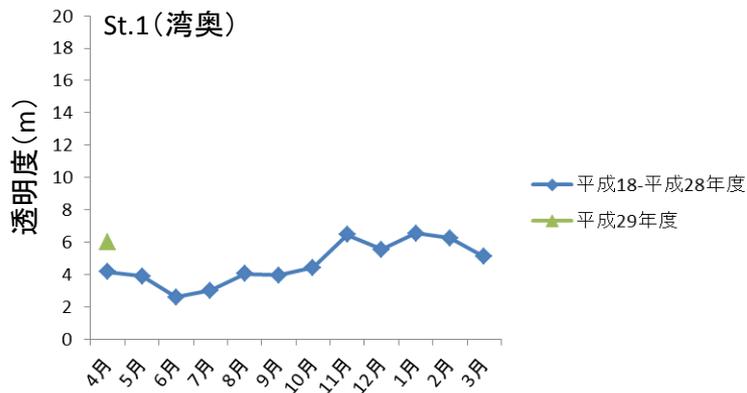


図2 透明度の推移

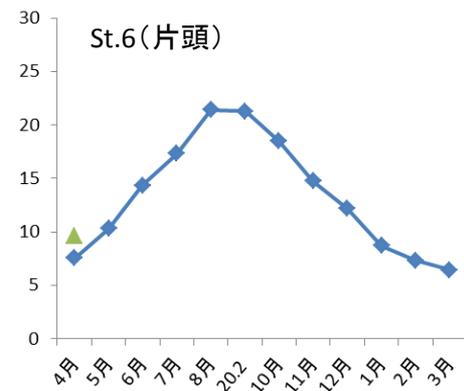
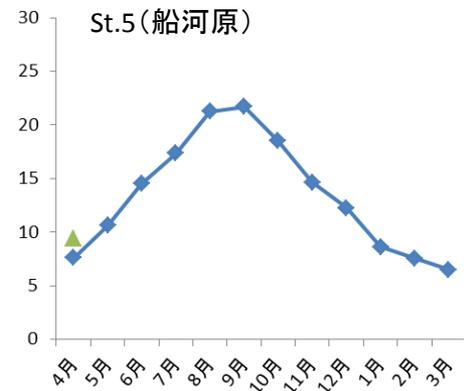
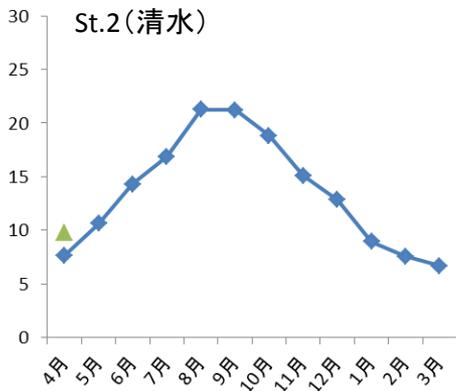
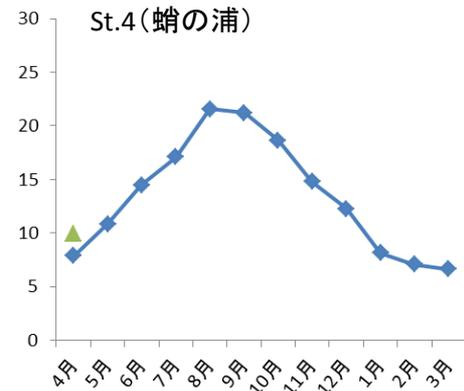
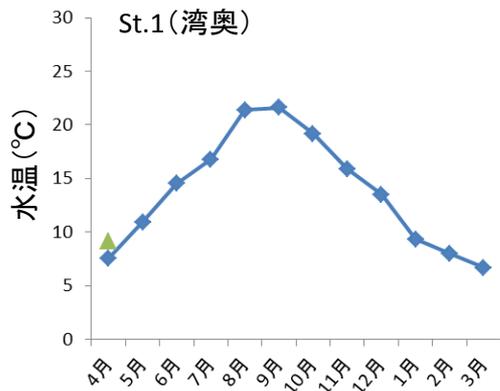


図3 水深2.5mの水温の推移

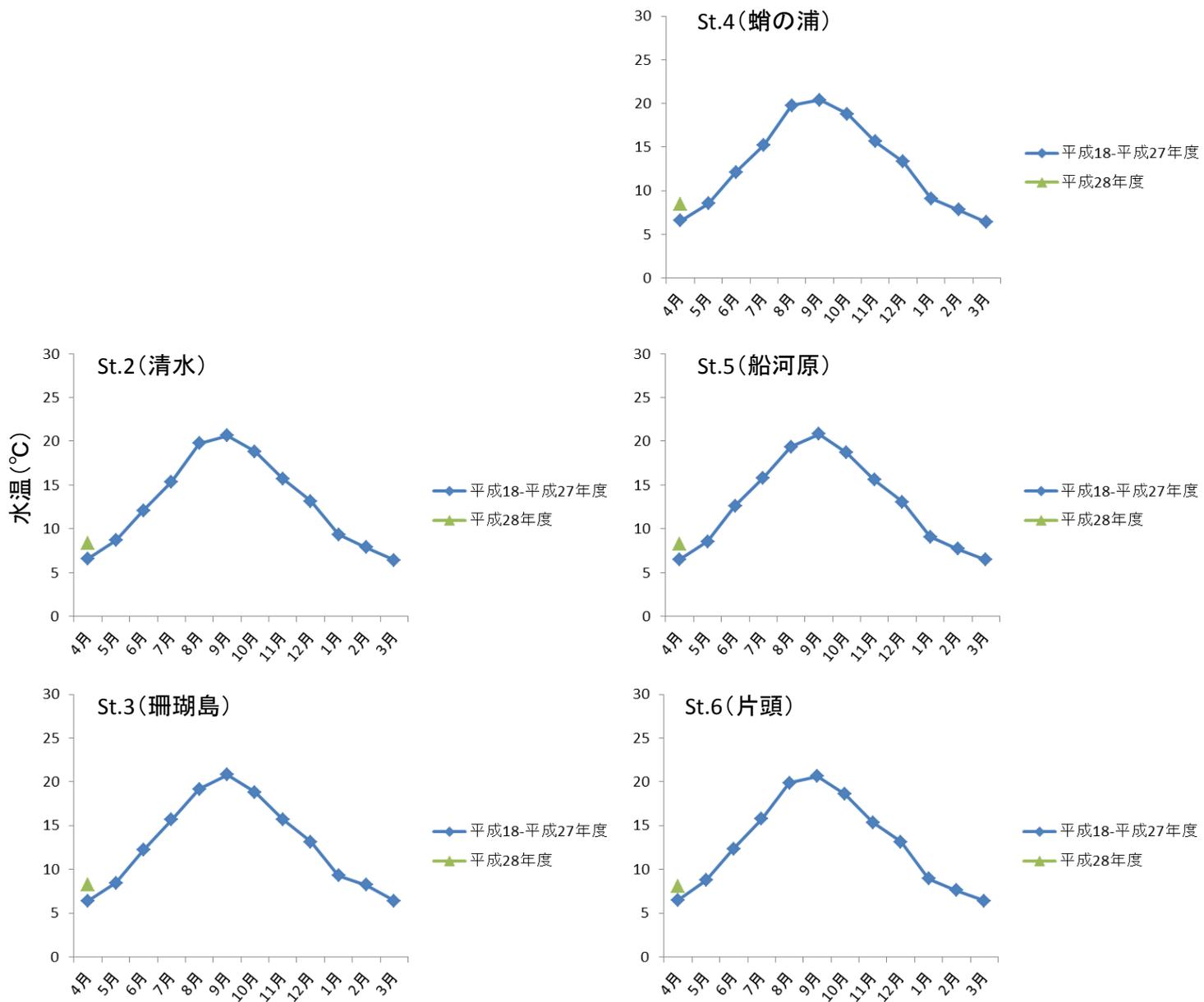


図4 水深10mの水温の推移

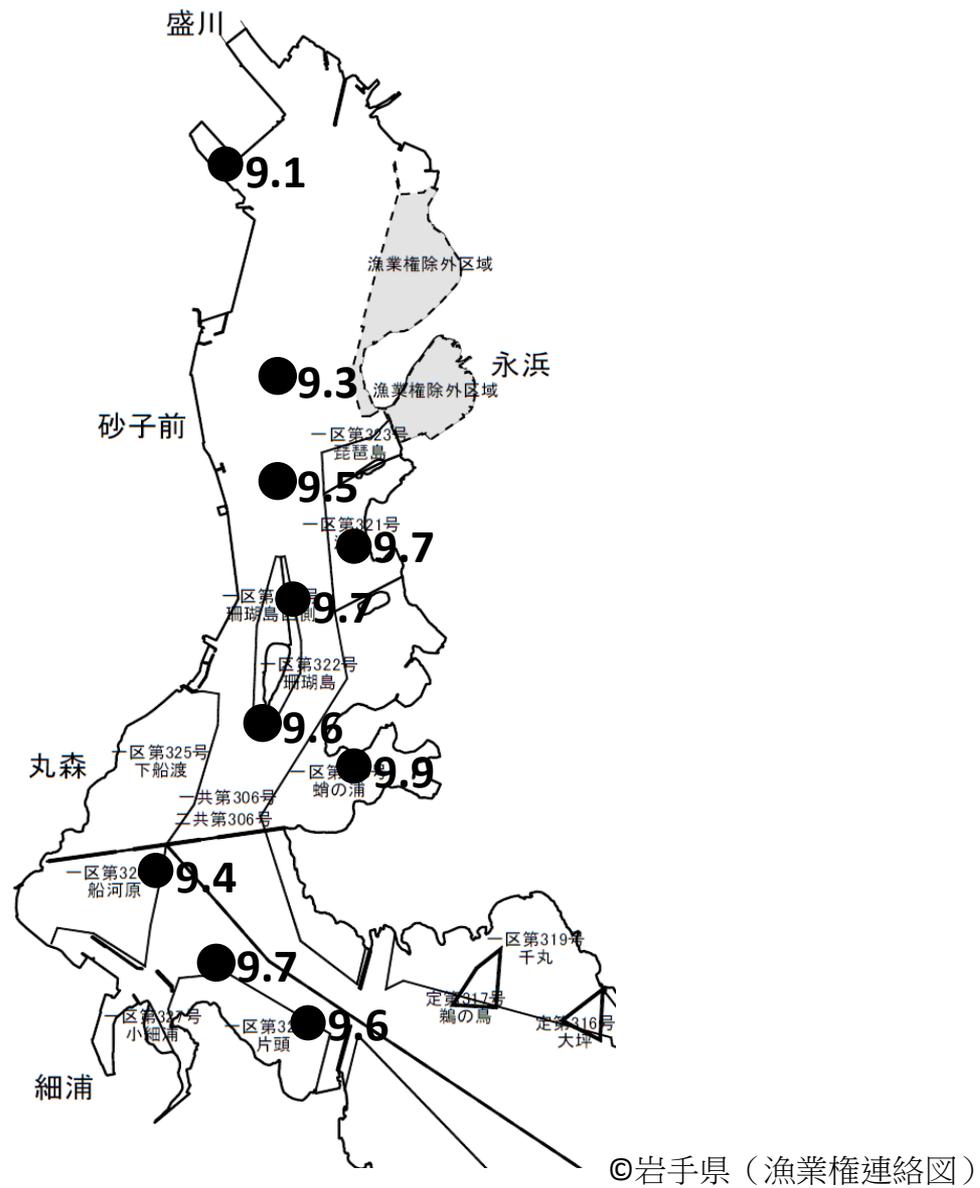
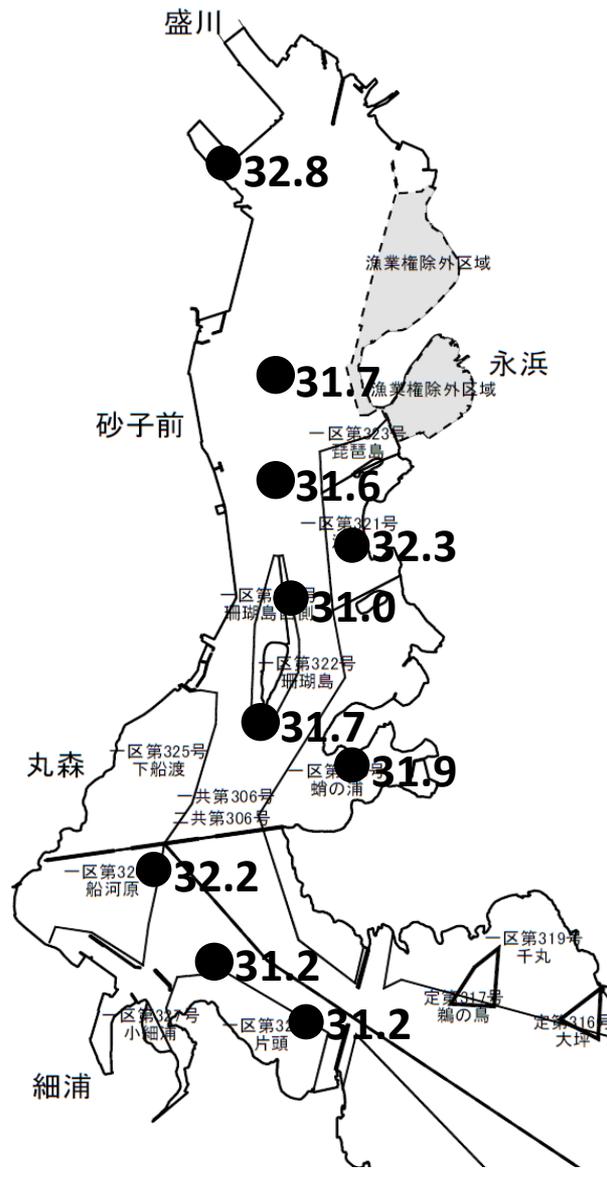


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。



©岩手県（漁業権連絡図）

図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

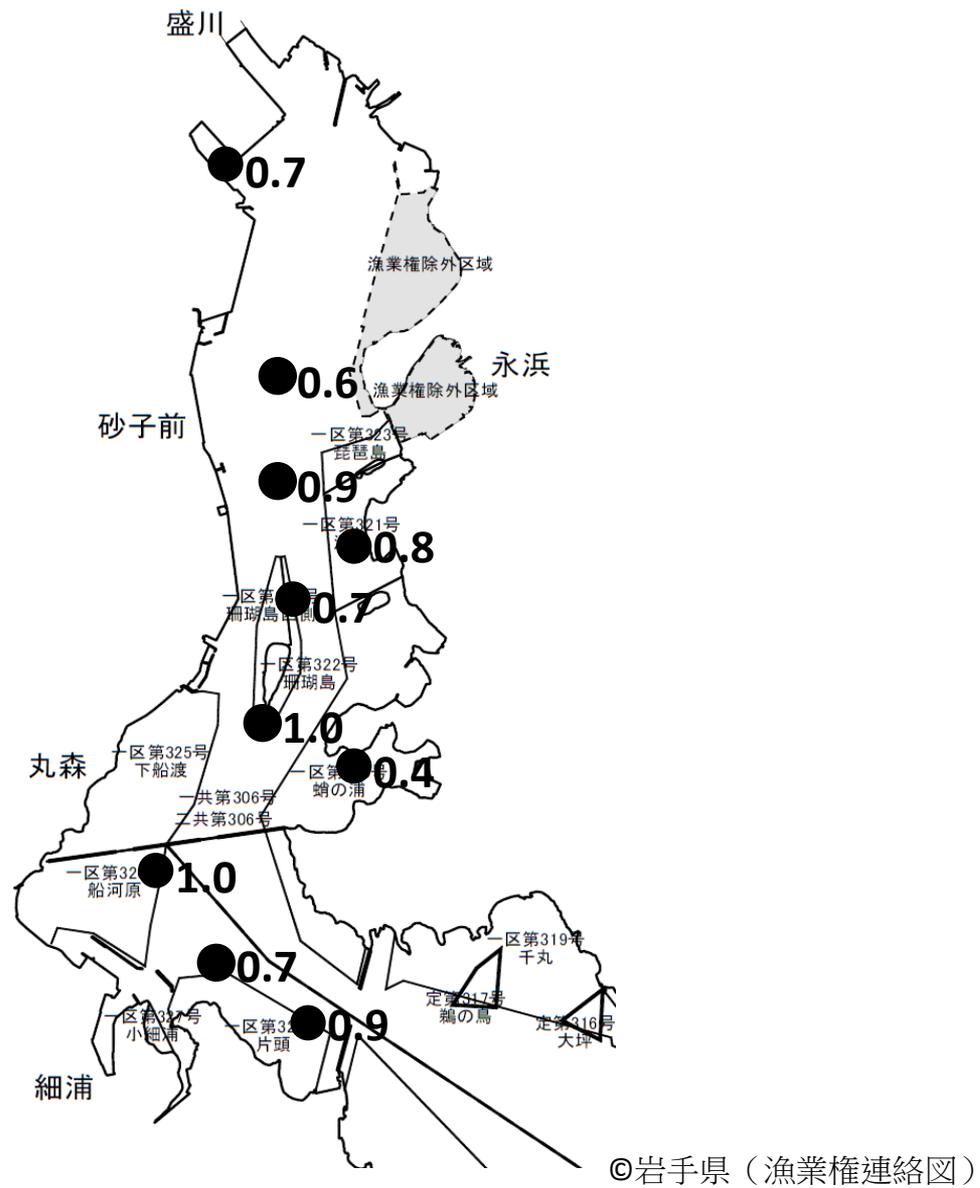


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。